

## 学校評価(7月)集計結果について

7月に、児童と保護者の方々を対象に実施しました「本校の教育活動に関するアンケート」の集計結果をお知らせいたします。なお、数値については、A:よくあてはまる B:やや当てはまるのA+Bの割合と、A評価の割合をお伝えします。

### Ⅰ 児童アンケートの結果より

	児童アンケート(R6_7月)	R6_7月	R5_7月	R6_7月 A評価
①	自分の考えを進んで発表している。	78%	79%	48%
②	誰にでも元気なあいさつができています。	92	92	65
③	1ヶ月に読む本の冊数。(学校や家) A3冊以上 B2冊 C1冊 D0冊	87	93	68
④	体育の授業などで、めあてに向かってがんばっている。	95	97	77
⑤	先生の話や友達の発表をしっかりと聞いている。	94	95	75
⑥	宿題をていねいにやっている。	88	87	54
⑦	家庭では進んで学習や自主学習に取り組んでいる。	78	80	42
⑧	そうじの時間、しゃべらず一生懸命がんばっている。	94	95	68
⑨	地域のふれあい、活動する中で地域のことがわかるようになった。	92	93	67
⑩	学校が楽しい。	95	96	82
⑪	みんなで何かをするのは楽しい。	95	98	89
⑫	授業に主体的に取り組んでいる。	94	96	65
⑬	授業がよくわかる。	93	95	73
⑭	先生は授業内容を一生懸命教えてくれる。	100	100	96
⑮	道徳の時間には考えを深めることができています。	90	92	65
⑯	いじめを見たら大人に知らせたり、とめたりすることができる。	88	89	61
⑰	将来の夢やめざす目標をもっている。	90	94	77
⑱	郷土福井を大切にしたいという気持ちをもっている。	96	94	83
⑲	授業で、タブレットやPC(パソコン)などのICT機器をどのくらい利用したか。(A:ほぼ毎日 B:週3回以上)	53	58	7

○目標値(A+B 80%)に達している項目は19項目中16項目でした。また、スクールプランの中で、今年度、重点的に取り組むと考えた項目(目標値を①②は80%、②④⑨⑮は90%、⑱は95%に設定)について、7項目中6項目が目標に達することができました。

○A評価の数値からは、⑩⑪から、学校や仲間と協力して活動することを楽しいと感じている児童が80%を上回るとともに、⑭から児童と教職員との関係も概ね良好であり、学校が学びの場として望ましい状態を維持できていると思われます。

○一方、A評価の数値が、①⑥⑦⑱のように60%を下回っている項目もあります。子供たちが、自分の考えを発信することについては、安心して自信をもって伝えることができるよう、学級作りや児童への言葉かけを継続したいと思います。また、宿題や進んで学習の充実については、丁寧に仕上げることのよさを再確認するとともに、宿題や進んで学習の内容を具体的に子供たちに説明し、自分の力で学び世界を広げていく楽しさに気づかせるようにしたいと思います。さらに、⑱のA評価の数値は7%とたいへん低くなりました。子供たちが、学習や活動の中でタブレットや学習アプリを利用する機会は年々増えていますが、現状では、情報収集のためインターネットを利用したり、画像や動画による記録のために利用したりすることが多い状態です。連絡帳に明日の予定やメモを書くことと同じような感覚でタブレットに記録したり、ホワイトボードを利用するように仲間と情報を共有するためのツールとして利用したりする機会を工夫し、より身近なツールとしてタブレットや学習アプリの活用に取り組みたいと思います。

## 2 保護者アンケートの結果より

	保護者アンケート(R6_7月)	R6_7月	R5_7月	R6_7月 A評価
①	学校は、「PTA総会」「懇談会」「学校だより・学年だより」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。	95%	97%	50%
②	学校は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。	83	87	41
③	学校は、子どもたち一人一人を大切に、温かく指導している。	91	85	49
④	子どものことで、気軽に学校に相談できる。	87	85	47
⑤	我が子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である。	92	96	52
⑥	教職員定時退庁日をはじめとする働き方改革の取組を理解できる。	86	94	57
⑦	本校は、地域と連携を取りながら、様々な体験活動を取り入れている。 (読み聞かせ、クラブ、生活科や総合の授業など)	80	83	36
⑧	本校は、各教科で基礎・基本を中心に、わかりやすい授業を行っている。	86	82	43
⑨	本校は、健康な体づくりや健康教育・食育に力を入れて取り組んでいる。	82	88	35
⑩	本校は、いじめや不登校を防ぐために、きめ細やかな指導をしている。	76	64	30
⑪	本校は、電話をかけた時や学校を訪れた時の教職員の対応はよい。	97	99	58
⑫	本校は、校舎内外の清掃が行き届いている。	80	81	43
⑬	本校の児童は、場に合ったあいさつができています。	76	76	33
⑭	わが子は、家庭学習(宿題、進んで勉強など)に意欲的に取り組んでいる。	62	65	21
⑮	わが子は、学校や家庭でよく本を読んでいる。	41	37	25
⑯	わが子は、人に対して思いやりの気持ちを持って行動できる。	86	84	31
⑰	わが子は、学校であったことをよく話してくれる。	72	79	33
⑱	わが子は、つきたい職業など、将来の夢や目標を持っている。	50	49	15
⑲	わが子はスマートルールを守っている。	41	56	15

○目標値(A+B 80%)に達している項目は19項目中12項目でした。一方、スクールプランの中で、今年度、重点的に取り組むと考えた項目(目標値を⑭⑮⑲は80%、②⑨⑩⑯⑱は90%、⑦は95%に設定)について、7月時点で目標値に達することができた項目はありませんでした。

○スクールプランの項目の中で、目標値との差が特に大きかったのは、次の3つの項目でした。

- ⑮わが子は、学校や家庭でよく本を読んでいる(−39ポイント)
- ⑱わが子は、つきたい職業など、将来の夢や目標を持っている(−40ポイント)
- ⑲わが子はスマートルールを守っている(−39ポイント)

⑮の読書活動の推進について、本校では、蔵書のバーコード化を進め、借りたり返したりする作業を簡素化したり、新しい本を増やしたり、あじさい号を利用したりして、少しずつですが校内の読書環境の充実に努めています。しかし、現在、子供も大人も、スマートホンやタブレット、コンピュータ等の画面で、より手軽に文字を読んだり書いたりする機会が増えています。それでも、本を手に取り、文字や挿絵から想像の世界を広げる活動は、子供たちにとって価値の高い経験だと考えます。今後も、読書が好きといえる児童が増えるように取組を継続したいと思います。

⑱のキャリア教育の推進については、学校では授業や諸活動において、各ご家庭ではお子様と話したりいっしょに過ごしたりする機会に、目標やめあてをもつこと、そしてそれに向かって具体的な取組を工夫することなどについて働きかけることを増やしていくことが大切だと思います。ご協力をお願いいたします。

⑲のスマートルールを守ることにについて、昨年同時期に比べてもポイントが下がっており、子供たちを取り巻く状況はますます厳しくなっていることがうかがえます。そして、SNSに関わるトラブルやネット依存の問題など、学年を問わず巻き込まれてしまう可能性が高まっています。読書の推進やキャリア育成とともに、是非保護者の皆様のご協力を得ながら取り組ませていただきたいと思います。

○今回の学校評価では、本校の課題についてご指摘をいただく一方、③や⑩の項目において、子供たちを一人一人を大切にする指導やいじめや不登校を防ぐための細やかな指導について昨年度よりポイントが高まりました。そのような保護者の皆様の願いや期待に応えるべく、1学期後半と2学期の実践を積み重ねたいと思います。